

令和4年度第3回八千代市第2次健康まちづくりプラン推進・評価委員会
会議録

【日時】令和5年3月1日（水） 午後2時から3時30分

【場所】保健センター 保健指導室

【議題】

1. 議題

(1) 第3次健康まちづくりプラン・第2次のち支えるまちづくりプランについて

①パブリックコメント結果報告

②計画書（最終案）について

③概要版（案）について

2. 報告

(1) 第2次健康まちづくりプランにおける実績報告

①進捗状況調査結果（令和3年度実績）

②令和4年度活動報告

(2) いのち支えるまちづくりプランにおける実績報告

①進捗状況調査結果（令和3年度実績）

②令和4年度活動報告

3. 事務連絡

【出席者】

推進・評価委員（20人）

福田光宏会長，細谷紀子副会長，河野真吾委員，小川智弘委員，佐藤幸江委員，
椎名豊子委員，赤崎有紀子委員，服部直也委員，前島宗仁委員，植草圭一郎委員，
斎藤浩一委員，中沢恵美子委員，新井陽一委員，渡部正敏委員，吉岡由佳委員，
中村正人委員，館野理恵委員，小林詔三委員，仲村義男委員，萩島賢委員

事務局（計18名）

健康福祉部 糟谷部長，伊藤次長

健康づくり課 毛塚課長，馬場副主幹，大澤主査，西川主任栄養士，佐藤主任保健師，
近藤保健師

障害者支援課 陰山課長，笠井主任保健師

子ども部 須藤部長，島津次長

母子保健課 立石課長，横田副主幹，湯浅副主幹，春山主査，高田主任保健師，
鈴木栄養士

株式会社 社会構想研究所 社員1名

【公開・非公開の別】 公開

【傍聴人数】 0名

【審議内容】

(事務局：西川)

皆様こんにちは。定刻となりましたので、これより令和4年度第3回八千代市第2次健康まちづくりプラン推進・評価委員会を開催させていただきます。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

本日の司会を務めさせていただきます、健康づくり課の西川と申します。よろしくお願いいたします。会議に先立ちまして、本委員会は、八千代市審議会等の会議の公開に関する要領第4条により、会議を公開するとともに、議事録作成のために録音させていただきますことをあらかじめご了承ください。また、本日、計画策定事業の委託事業所「社会構想研究所」の職員森様にご同席いただいておりますことをご了承ください。

感染症対策として、会議中はマスク着用のご協力をお願いいたします。

それでは、はじめに健康福祉部長の糟谷より皆様にご挨拶申し上げます。

(健康福祉部長：糟谷)

皆様こんにちは。健康福祉部長の糟谷でございます。

本日はご多忙の折「令和4年度第3回八千代市第2次健康まちづくりプラン推進・評価委員会」にお集まりをいただきまして誠にありがとうございます。

また、日頃より本市の保健福祉行政に格別のご理解、ご協力を賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年度からスタートいたします「八千代市第3次健康まちづくりプラン」及び「八千代市第2次いのち支えるまちづくりプラン」につきましては、現在パブリックコメントによる意見募集を終え、おかげさまでもちまして計画策定の最終段階に入ったところでございます。委員の皆様におかれましては、これまで現計画の推進・評価及び次期計画素案に対しまして、活発なご意見をいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

本日は次期計画の最終案につきましてご審議をいただくこととなりますが、引き続き委員の皆様から忌憚のないご意見を頂戴できたらと考えております。

最後となりますが、「八千代市第3次健康まちづくりプラン」及び「八千代市第2次いのち支えるまちづくりプラン」の両計画は、これまでと同様、市民の皆様、地域の関係団体、行政の協働による取り組みの推進を基本方針としておりますことから、委員の皆様におかれましても引き続き八千代市における健康づくりを推進するうえでのさらなるご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

(事務局：西川)

続きまして資料の確認をいたします。

まず、机の上に置いてあります式次第。裏面は、八千代市第2次健康まちづくりプラン推進・評価委員会委員一覧となっております。No. 7 八千代市民生委員児童委員協議会連合会の田邊委員が退任され、新たに白坂委員が就任されましたことをご報告いたします。なお、本日、八千代市医師会 寺島委員、八千代市民生委員児童委員協議会連合会 白坂委員、八千代市自治会連合会 粟根委員、八千代市ふれあい大学校OB連絡協議会 中村

委員，市民代表 黒濱委員におかれましてはご欠席の連絡をいただいております。また，萩島委員におかれましては，所用により午後 3 時 30 分にご退席されるということです。

資料確認に戻ります。資料 5「令和 4 年度 八千代市第 2 次健康まちづくりプランに基づく事業の進捗状況調査結果について」，ホチキス留めのものになります。資料 6「八千代市第 2 次健康まちづくりプラン，それぞれの世代で取り組んできた取り組み報告」になります。資料 7「令和 4 年度 八千代市いのち支えるまちづくりプランに基づく事業の進捗状況調査結果について」，そして資料 8 が「令和 4 年度 八千代市いのち支えるまちづくりプランの取り組み」です。以上が本日お配りした資料になります。不足のある方はいらっしゃいませんか。

また，事前送付した資料 1～4 につきましてはお持ちいただいておりますでしょうか。もしお持ちいただけない場合はお知らせください。お持ちいたします。

資料確認は以上となります。

続きまして，福田会長よりご挨拶をお願いいたします。

（福田会長）

改めまして，本日はご多忙の中お揃いいただきありがとうございます。令和 4 年度第 3 回八千代市第 2 次健康まちづくりプラン推進・評価委員会ということで，本日は事務局の説明のあとに質疑の時間を設けておりますので，話の中でわからないことや確認したいことがありましたら，遠慮なくどんどん意見を言っていただければと思います。スムーズな議事進行にご協力いただければと思います。私からは以上です。

（事務局・西川）

福田会長ありがとうございます。

ここで，大変恐縮ですが，健康福祉部長・次長，子ども部長・次長は公務のため退席させていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

それでは，八千代市第 2 次健康まちづくりプラン推進・評価委員会設置要領第 6 条において，会長が議長となるとしておりますことから，ここからは議事進行を福田会長にお願いしたいと思います。福田会長，よろしくお願いいたします。

（福田会長）

はい，よろしくお願いします。さっそくですが，議題に入らせていただきます。

お手元の資料，議題 1（1）第 3 次健康まちづくりプラン・第 2 次いのち支えるまちづくりプランについて，①パブリックコメント結果報告について，事務局より説明をお願いします。

（事務局：佐藤）

健康づくり課の佐藤と申します。パブリックコメントの結果についてご報告いたします。事前送付しました資料 1「八千代市第 3 次健康まちづくりプラン及び第 2 次いのち支えるまちづくりプラン（素案）に寄せられたご意見と市の考え方について」及び資料 3「計画書変更点」をご覧ください。

12月20日から1月19日までの期間で、第3次健康まちづくりプラン及び第2次のいち支えるまちづくりプランの素案に対する意見を募集したところ、3名の方から合計25件の意見が寄せられました。寄せられた意見とそれに対する市の考え方を資料1にまとめています。本日は、意見を受けて計画書の変更をする項目を中心にご報告いたします。

まず、資料1のNo.1をご覧ください。本市の健康寿命の現状として記載されている値が、一般的に健康寿命として公表されている年齢に比べて長すぎるのではないかという意見をいただきました。健康寿命には様々な算出方法がありますが、本計画で使用しているのは、「65歳の平均自立期間」という、介護保険のデータを使用して算出されるものです。国や県が健康寿命として公表しているのは、「日常生活に制限のない期間の平均」と呼ばれている国民生活基礎調査の結果を使用して算出する値であり、算出方法が異なります。市町村別の値が算出できないことから、市町村においては「平均自立期間」を用いて算定することとされており、本計画でも平均自立期間を使用しています。その旨を計画書にも記載することとし、資料3のNo.2に書いてあるように変更する予定です。太字になっている下線部分を追加する予定です。資料3のNo.2ですが、変更後の文章の最後が切れてしまっていますが、正しくは「使用します。」という文章になります。

続いて、資料1の2頁目、No.7をご覧ください。行政の取り組みを掲載する際に実施機関と連携機関を記載しておりますが、連携機関が空欄となっている事業について、空欄を埋めてほしいという意見をいただきました。該当する機関がない事業については空欄としておりその点に変更はありませんが、実施機関・連携機関という表現を修正したいと考えております。健康まちづくりプランにおいては、地域・関係機関の取り組みと、行政の取り組みを分けて示しており、行政の取り組みの「連携機関」は庁内の部署を意図しておりました。しかし、この意見を受けて、連携機関という文言が関連機関も広く含まれる表現であり、適切ではなかったと考えたため、庁内の部署を記載していることが明確になるよう、実施機関・連携機関を実施部署・連携部署と変更したいと考えています。

続いて、資料1の3頁No.18をご覧ください。こちらは、いち支えるまちづくりプランについて、「八千代市の自殺の現状として、男性は20歳代・30歳代・50～60歳代、女性は20歳代・50歳代・80歳以上が多く、重点的に取り組むべき対象として、高齢者、生活困窮者、無職者・失業者への対策が推奨されてきました。」とあるのに、「重点施策に失業者や無職者の対策が除かれるのはなぜか。」という意見をいただきました。本市は、男性の40～50歳代、60歳以上の自殺者が多く、その背景にある問題として、配置転換や過労、失業や生活苦、借金、うつ状態などがあり、推奨される重点パッケージに「生活困窮者への取り組み」が挙げられていること、国の自殺総合対策大綱を踏まえた重点施策にも全年齢を網羅した「生活困窮者への支援強化」が挙げられていることから、本市では、「生活困窮者への支援強化」を重点施策として取り組んでいくこととしました。その対策として、求職相談や職業紹介、福祉部門で行っている支援対象者への状況に応じた就労支援などがありますので、計画書に追加することとしました。

最後に、資料1の最終頁、No.24をご覧ください。「障害」という言葉を使用する際に、「害」をひらがな表記している箇所と漢字表記している箇所が混在しているため、ひらがな表記に統一して欲しいというご意見が挙がりました。本計画では、他の市計画同様に、障害者基本法で定義されている「障害」を指している場合に法の表記に統一して漢字表記

としておりました。しかし、ひらがなの「がい」の表記を使用している箇所が1カ所あったため漢字表記に統一する予定です。

パブリックコメントについての報告は以上になります。

(福田会長)

ありがとうございます。ただいまの説明に対してご質問はありますでしょうか。ある方は挙手のうえご発言いただければと思います。

《質問なし》

よろしいでしょうか。それでは引き続き②計画書（最終案）について、事務局より説明をお願いします。

(事務局：佐藤)

計画書の最終案についてご説明いたします。最終案は事前送付しました資料2となります。また、先ほども使用しました資料3には、11月に開催した推進・評価委員会で提示した「計画書素案」からの主な変更点をまとめております。資料2と資料3を使ってご説明させていただきます。資料3に沿って1から順番にご説明いたします。

まず、資料3のNo.1です。各分野にコラムとして、健康情報や、やちよ元気体操や喫煙防止教育といった本プランの取り組みの紹介を追加しました。該当頁は資料3に記載しているとおりです。

続いて、No.2です。先ほどお伝えしたとおり、パブリックコメントでの意見を踏まえて、「健康寿命」として記載している「平均自立期間」が、国や県の算出している値と異なる旨を注釈に加えました。

続いて、No.3です。2点あり、1点目は、パブリックコメントの意見を踏まえて「障がい」の表記を漢字にしたことです。2点目は、前回の会議でいただいた意見を踏まえて、パブリックコメント実施前に素案を修正した部分の報告です。資料2の17頁を併せてご覧ください。会議の中で、基本理念の1つである「安心して子育てができる環境が整ったまち」に関する基本目標が「健康寿命の延伸」、「主観的健康観の向上」、「健康格差の縮小」であることにつながりを感じないというご意見をいただきました。18頁に各基本目標の具体的な説明を記載しており、「健康寿命の延伸」に関しては、4行目に、「生活習慣病やフレイルを予防し、健康寿命を延伸するために、妊娠期・乳幼児期から望ましい生活習慣を身に付けるとともに」という言葉で妊娠期・乳幼児期に対する施策に触れていましたが、「主観的健康観の向上」、「健康格差の縮小」については具体的に触れておりませんでした。そのため、資料3のNo.3の下線部が追加部分になるのですが、「主観的健康観の向上」の説明に、「地域の中で安心して子育てができるような体制整備について」という文言を追加しまして、「他分野の各施策と連動させ、地域のつながりの強化を図ります。」という文章に修正しました。また、資料3のNo.4は同様の理由で、「健康格差の縮小」の説明の中に、「妊娠期・乳幼児期の健診を含む健診未受診者への受診勧奨」という文章に修正をしております。

続いて、資料3のNo.5です。「(仮)自殺対策推進協議会」は「(仮)自殺対策連絡協議会」へ変更しております。

No.6 は、パブリックコメントの結果で報告したとおり、行政の取り組みを市の取り組みとし、「実施機関」を「実施部署」、「連携機関」を「連携部署」と表記を変更しています。

次にNo.7です。「歯と口腔の健康の分野におけるめざす姿3」に「障害や災害下において、誤嚥性肺炎の発症等の二次的な健康状態の悪化を防ぎ、口腔機能の維持を図る」とありましたが、「障害と災害を並列に記載する」ことが適切ではなかったと考え、「災害等によって口腔ケアが困難な状況においても、」という表現に変更しました。

次にNo.8です。こちらは、パブリックコメント実施の前に素案を修正した箇所になります。資料2の67頁を併せてご覧ください。前回会議にて、市民アンケート調査で把握した、健診等を受けている人の割合と、実際の市の受診率に乖離が見られるという点をご指摘いただきました。それを受けて、基準値が、市が実施した健診の受診率と異なる旨を注釈にて記載しました。また、その際に健診の認知度を上げるための取り組みが必要なのではないかとの意見もいただきながら、このことに関しては、70頁の一番下に記載している事業、検診・健診の受診勧奨の中で取り組んでまいります。今後、委員の皆様からもご意見をいただきながら実施してまいりたいと考えております。

続いて、資料3のNo.9です。資料2の105頁を併せてご覧ください。パブリックコメントでの意見を踏まえて、相談支援体制の事業に、「ひとり親家庭への相談」及び「求職相談や職業相談」を追加しました。

最後にNo.10です。資料編として、109頁以降に、以前の推進・評価委員会でも提示しました、第2次健康まちづくりプランの評価や、関連条例や法規等について追加しております。変更点は以上となります。

(福田会長)

ただいまの説明及び計画書最終案について、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。

《質問なし》

すみません、私は一点気がついたのでありますが、資料2の105頁、「求職相談や職業相談」の下から2行目は「千葉県ジョブサポートセミナー及び謹慎し等」になっていますが、これは「近隣市」ではないでしょうか。文字の変換ミスがあったようですから修正をお願いします。

(事務局：佐藤)

はい。ありがとうございます。

(福田会長)

それ以外に何かございますか。よろしいでしょうか。

では、計画書作成案の議決に移ります。八千代市第3次健康まちづくりプラン及び八千代市第2次いのち支えるまちづくりプランの最終案について、承認をいただける方は拍手をお願いいたします。

《拍手》

ありがとうございます。拍手多数により、八千代市第3次健康まちづくりプラン及び八千代市第2次いのち支えるまちづくりプランの最終案につきましては、八千代市第2次健

健康まちづくりプラン推進・評価委員会設置要領第6条2項の規定に基づき、出席した委員の過半数が承認の意向であることから可決されました。

続きまして、③概要版（案）について、事務局より説明をお願いします。

（事務局：佐藤）

概要版（案）についてご説明いたします。事前送付しました資料4をご覧ください。

市民や連携する機関等に対し、計画の目指すところや内容をわかりやすく伝えることを目的として、概要版の作成を予定しております。市のホームページ等で公表する他、市主催の講座参加者等にも配布を予定しています。本日の資料は白黒ですが、カラー印刷をする予定です。

2～5頁は、健康まちづくりプランの内容となっております。各分野の目指す姿や、個人・地域の皆様への提案、行政の取り組みを計画書から抜粋して掲載しています。よりわかりやすくなるよう、文言を多少変更したり、計画の内容に併せて健康に関するポイント等を盛り込み、周知にも活用できるように考えております。

6, 7頁はいのち支えるまちづくりプランの内容となります。計画のめざす基本理念や数値目標等、主な取り組みについて記載をしております。

最終頁には、両計画における市の取り組みの紹介を掲載しています。このような内容で検討をしているところです。事務局からの説明は以上となります。

（福田会長）

ただいまの説明及び概要版（案）に対してご意見・ご質問はありますか。

（細谷副会長）

概要版は、市民や関係機関の方が一緒に取り組むうえで大事なものだと思って拝見したのですが、基本目標の2番目の「主観的健康観の向上」の内容を拝見しますと、※印で「自身の健康状態をどのように捉えているかを表す考え方」とあります。この基本目標の3つ見ても漢字がすごく並んでいて、「主観的健康観」が「自身の健康状態をどのように捉えているかを表す考え方」というのはわかりにくいのではないかと思います。ここに書いてある「地域全体で健康づくりに取り組む環境や、地域の中で安心して子育てできるような体制を整備することで」までは目標ではなくて、どうするかという方法を示しているので、ここでは目標としてどういうことを目指しているのかわかりやすいほうがいいのではないかと思います。計画書18頁に、「病気や障害の有無に関わらず、誰もが自分なりの『健康』を維持しながら、自分らしい暮らしを送ることが大切です」と書いてあるので、「送ることを目指します」といった内容のほうが、ここで言いたいことが伝わるのではないかと思います。次第です。

併せて、そのあとの「めざす姿」や「個人・地域の皆様への提案」といったタイトル出しはすごく目立つのですが、実際にどういうことが提案されているのかという中身の文字のところがやや見にくいのかと思いました。内容ができるだけ伝わるように、文字の大きさやレイアウト等が改善できればと思った次第です。以上2点です。

(福田会長)

ありがとうございます。ほかにご意見・ご質問等ありますでしょうか。

(前島委員)

私も、表記の方法ですが、先ほど計画書のご説明の中に、「行政」のところを「市」と書き換えていらっしやっただかと思えます。「めぎす姿」等々の右下のところはすべて「行政の取り組み」となっていますが、こちらは「市の取り組み」とはしないのでしょうか。

(事務局：佐藤)

こちらの表記に関しては今後検討してまいりたいと思います。ありがとうございます。

(福田会長)

ほかになんかご意見・ご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

《質問なし》

では、続きまして、2報告(1)第2次健康まちづくりプランにおける実績報告、①進捗状況調査結果について事務局より説明をお願いします。

(事務局：近藤)

健康づくり課の近藤と申します。第2次健康まちづくりプランにおける令和4年度に実施した進捗状況調査の結果についてご報告いたします。

お手元の資料5の1頁をご覧ください。はじめに、進捗状況調査の概要についてお伝えいたします。本調査の目的は第2次プランにおける事業の進捗状況を調査することです。対象は庁内25部署と外部機関3カ所です。調査内容は、令和3年度の実績及び令和4年度の予定とし、令和4年5月16日から6月15日までの期間に実施しました。

続きまして、3頁の令和3年度の全世代の調査結果について概要をお伝えいたします。全世代における事業数は全245事業あり、このうち231事業について調査しました。令和3年度の実績としては、計画通り実施できたものが41.6%、計画の一部を実施できたものが52.8%、未実施が4.8%、その他計画の変更などが0.9%でした。計画の一部を実施した、未実施の理由としては、新型コロナウイルス感染症による影響が多く挙げられていました。各世代の実績の詳細につきましては4頁にまとめておりますのでご確認ください。

令和4年度の進捗状況調査のご報告は以上です。

(福田会長)

ただいまの説明に対して、ご質問はございますでしょうか。

《質問なし》

では、続きまして②令和4年度活動報告について、事務局より説明をお願いします。

(事務局：横田)

母子保健課の横田と申します。すこやか親子世代の取り組みから紹介させていただきま。この世代は、妊娠期から乳幼児期・思春期を対象にしております。子育て中の親が家

庭や地域で孤立することなく、すこやかに子育てするためには妊娠期から乳幼児期にかけて切れ目のない支援を地域づくりの観点から行っていく必要があると考え、重点取り組みを「親子の心の健康を地域で支える健康づくりに取り組みます」と掲げています。

主な取り組みとしては、子育てしやすいまちづくり、親の子どもへの接し方のスキルを高める事業のほかに、子どもの食育に関する取り組み、思春期保健ネットワーク会議の取り組みを実施しましたので、令和4年度の実績を報告させていただきます。

まず1つ目の取り組み、子育てしやすいまちづくりについてです。八千代市には子ども支援センター「すてっぷ21」と地域子育て支援センターが市内に5カ所設置されており、子育てアドバイザーによる子育て相談ができるようになっていきます。また、子育てアドバイザーと母子保健課の保健師を中心に地域の現状や特性に合わせた活動を進めており、その一つとして関係機関や住民組織を交えて、その地区の情報交換や課題を検討する地域情報交換会を行っています。令和3年度まではコロナ禍で書面開催としておりましたが、今年度は対面で開催し、地域ごとに関係機関との情報交換や課題の検討等を行いました。

次に、親の子どもへの接し方のスキルを高める事業についてです。親が非暴力コミュニケーションで子どもとの対話をスムーズに進められるよう、子育てアドバイザー等のスキルアップ研修を行い、支援センターの利用者の相談などに生かしています。また、歯科健診などの母子保健事業で、今スライドにも出ている「愛の鞭ゼロ作戦」という非暴力コミュニケーションについてのリーフレットを用いて子育てのアドバイスを実施しています。

続いて、子どもの食育に関する取り組みです。「食を通じて子どもの社会性と食の自己管理能力を身につけ、しなやかな身体、豊かなこころを育てます」を目標に、やちよ食育ネットワーク協議会が行う事業と、妊娠期から継続した食育事業の二本柱で推進しております。やちよ食育ネットワーク協議会では、農業生産者と関わりのある食育の授業を小学校全校で実施することを目指して、平成24年度より、「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」を実施しています。小学校3年生を対象に農業生産者が学校を訪問し、農業生産者、学級担任、栄養教諭等の連携で授業を行いました。コロナ禍のため、実施については学校判断としましたが、今年度は小学校及び義務教育学校20校中18校で農業生産者と関わりのある食育を実施することができました。学校では、人参、梨、酪農等の授業を実施しました。今年度で11年目を迎えたこの事業は感謝の気持ちを持つこと等の狙いが達成され、事業の定着も図られてきました。前回の推進・評価委員会でもご説明したとおり、やちよ食育ネットワーク協議会は廃止し、今後は学校での取り組みとして継続してまいります。

次に、妊娠期から継続した食育については、妊娠期のプレママ教室、乳児期の「4か月児赤ちゃん広場」、今年度開始した離乳食教室、幼児期以降には公民館からの依頼による講話等、母子保健事業での食育を行っております。

思春期保健ネットワーク会議の取り組みについて説明します。行動目標、「思春期の子は自分や他者を大切に、生と性の課題について適切に対処します」を推進するため、今年度は中学生向けリーフレットを配布し、思春期保健シンポジウムを開催いたしました。

中学生向けリーフレットは性に対する正しい知識が得られるサイトや相談機関を掲載したもので、市立中学1年生とその保護者を対象に配布いたしました。

思春期保健シンポジウムは、生と性の現状と課題を共有すること、会議や関係団体との取り組みを周知することを目的に、令和5年1月22日に開催いたしました。講師には思春期保健ネットワーク会議にも参画していただいている八千代市医師会婦人科医の柳堀先生。千葉県助産師会習志野八千代鎌ヶ谷地区部会助産師の鶴岡先生。秀明大学看護学部母性看護学准教授助産師の東先生をお迎えし、「子どものためにも知っておくべき性のお話」の講演をいただきました。看護も医療・教育等の関係機関と連携を図り、子どもや保護者への知識や情報の提供を行っていきます。

以上で、令和4年度すこやか親子世代の取り組みの報告を終わりにします。

(事務局：大澤)

続きまして、令和4年度のはつらつ成年世代の取り組みについてお伝えいたします。健康づくり課大澤と申します。よろしくお願ひいたします。

お手元の資料6の2枚目をご覧ください。啓発ポスターや写真等はわかりやすいようにスライドでお見せいたします。こちらの資料は令和5年1月末現在の実績となりますのでご了承ください。

はつらつ成年世代は、重点取り組みのテーマが「健康づくりを地域みんなで取り組みます」になります。まず、食を通じた健康づくりの取り組みですが、「野菜たっぷり認定メニュー」推進事業と、あと「八千代カレー」、「食に関する情報提供、講座、相談」の3つになります。

まず「野菜たっぷり認定メニュー」ですが、平成29年度より行ってきましたが、令和2年度よりコロナ禍により事業を中止しております。今後はコロナの感染状況を見ながら事業展開について検討していく予定です。

2番目としまして「八千代カレー」ですが、こちらも平成29年度から令和5年度まで、商工会議所のイベントに「野菜たっぷり八千代カレーを作ろう！！」という調理実習の講座を登録しまして、1食で120グラムの野菜がとれるカレーづくりを行い、野菜を摂取する大切さを伝えてきました。こちらの写真がそのときのカレーです。八千代カレーというのは、八千代産の梨と、八千代市の花であるバラにかけたバラ肉をベースとしたとてもおいしいカレーになります。今年度はコロナ禍のため調理実習等の講座ができませんでしたので、この講座で紹介していましたレシピをチラシやホームページで公開しております。

食に関する情報提供、講座、相談等に関しましては、旬の野菜を使ったレシピを作成しまして、チラシや市がお送りする健康情報メールで配信をして、行っております。また、本日午前中も行っておりましたが、感染対策を講じたうえで、「ウィズコロナの健康バランスアップ術」という調理実習等はない講座や相談等も実施しております。

続きまして、たばこ対策の取り組みについてお伝えいたします。たばこ対策の取り組みの1つ目としまして、たばこの健康への影響についての周知と、2つ目が喫煙防止教育、3つ目が受動喫煙防止対策になります。

まず、たばこの健康への影響についての周知ですが、こちらは5月31日の世界禁煙デーに合せまして、たばこの健康への影響についてホームページや健康情報メールで市民の方に情報提供させていただいております。

あと、皆様に本日お配りさせていただいております千葉県が作成したポケットティッシュを保健センターの窓口を設置しまして、喫煙の健康への影響を啓発しております。本日はよろしければお持ち帰りください。

また、喫煙防止教育については、平成17年度からの取り組みになりまして、保育園・幼稚園の年長児を対象としております。この画像の「グッバイ！モクモク王様」という紙芝居は、喫煙防止教育ということで、各園で読み聞かせを実施していただいております。11月末現在の実績は市内15園で行ったということでした。

最後に、受動喫煙防止対策についてです。こちらは千葉県による受動喫煙防止キャンペーンとしまして、使い捨てカイロが県から配布されましたので、この写真の右側ですが、そのカイロを本年度は商工会議所と文化施設、スポーツ施設の窓口等で配布しまして、周知啓発を図っております。

3番目としまして、情報発信の取り組みについてです。こちらは、やちよ健康情報メールの配信とイベント等での健康情報の発信。それから、健康増進普及月間における運動の普及啓発になります。昨年度に引き続きまして、長引くコロナ禍による生活習慣病の進行が懸念されることから、食事、運動、歯科等の面からメタボ対策に関する情報等の積極的な情報発信に努めました。

やちよ健康情報メールの配信は、市民にお知らせしたい内容をタイムリーに配信できるやちよ健康情報メールにて、食、運動、歯科保健、生活習慣病予防、健診・受診勧奨、健診実施の日程、睡眠、心の健康、悩んだときの相談窓口等、情報提供に努めております。

また、イベント等の健康情報の発信ですが、こちらはお酒との上手な付き合い方ということで、新成人にお酒との上手な付き合い方を周知するために、飲酒の際の注意点ですとか、アルコール分解体質を調べるための簡易パッチテストを紹介するリーフレットを作成しまして、成人式で配布しております。

それから健康増進普及月間における運動の普及啓発についてです。9月が健康増進普及月間ですが、成年世代の運動を推進するためのポスター、「階段は無料の健康器具！」というポスターを作成しまして、そちらを市役所、保健センター、総合生涯学習プラザ、八千代市内の東葉高速鉄道の駅、商工会議所、社会福祉協議会に掲示しております。はつらつ成年世代のご報告は以上になります。

続いて、いきいき高齢者世代の取り組みについてもお伝えさせていただきます。こちらは資料6の3枚目をご覧ください。こちらと同じく令和5年1月末現在の実績となります。このいきいき高齢者世代の重点取り組みのテーマは、「運動をきっかけとした住民主体の健康づくりに取り組みます」になります。

1つ目としまして、やちよ元気体操応援隊の養成とその活動支援になります。応援隊養成講座は令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催を中止にしておりましたが、本年度は2月に開催しております。お配りの資料は1月末現在の実績のため、実績値は入っていませんが、実際は2月8日と15日、22日に実施をしておりまして、受講者は25名、そのうち応援隊に登録していただいた方が23名になります。スライドの左側の写真が当日の様子です。多くの方にご参加をいただいております。また、体操グループの実績ですが、令和4年度は新規で1グループ増加しておりまして、現在グループ総数は91グループとなっております。右側の写真が体操のときの写真になります。皆さんマスクをして換

気をして距離を取りながら体操をされています。人数が多いグループは2グループに分かれて時間差で体操したりしていると伺っております。

応援隊の活動支援としましては、令和2年度以降中止していた研修会を対面とオンラインを併せて開催を行いました。そちらは163名の参加がありまして、参加していただいた方から「久しぶりの研修会で気持ちが新たになった」、「とてもよかった」等のお声が聞かれました。また、10月からは2年ぶりに理学療法士等による体操グループも再開しております。3月末、本年度中には半数のグループへの体操の確認等を行う予定となっております。

続きまして、健康づくりに関する普及啓発は、「やちよお口いきいき体操」等の作成及び周知と、お試し体操広場の開催になります。「やちよお口いきいき体操」は、オーラルフレイル、お口の衰えを予防することを目的とした八千代市オリジナルの健口体操、健口体操の「けんこう」は「康」ではなく「口」の字を使いますが、「やちよお口いきいき体操」というものを作成しております。こちらは音源のCDや動画を作成しております。健康教育のときに使用しております。

こちらは歯科健康教育で体操を実施したほか、先ほどのやちよ元気体操応援隊の研修会でも紹介をさせていただいております。理学療法士によるグループ訪問の際にフィードバックを行いまして、体操の普及と定着に努めております。いきいき高齢者部会のほうでは動画に合わせて一緒にやっていただいたのですが、ほかの部会の方は見ていただけないと思いますので、音声で少しご紹介致します。音楽も応援隊の方に作っていただきまして、CDとか動画があります。こんな感じで、今皆さんにご活用いただいているところになります。ホームページでも動画を見ることがありますので、よろしければぜひご覧いただけたらと思います。

それから、あとはお試し体操広場の開催ですが、やちよ元気体操の周知に努めるとともに、気軽にやちよ元気体操を体験できる機会としまして、お試し体操広場を月2回、市民体育館の横の広場で開催しまして、今年度は延べ541人が参加をしております。

最後に、その他の取り組みとしまして、食に関する市民活動の推進も行っております。「男の料理塾」という講座の卒塾後に3つの自主グループが発足しまして、令和2年、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で活動を休止していましたが、今年度に入ってから2グループが活動を再開しております。こちらがそのときの写真です。自主活動グループなので特に講師はいませんが、調理を行っていくために皆様で互いに知恵を出し合っています。活動の再開にあたっては、食中毒の予防ですとか献立作りのポイントについて、市の栄養士が説明を行っております。おいしそうな親子丼等を作られたようです。はつらつ成年世代といきいき高齢者世代からの取り組み報告は以上となります。

(事務局：春山)

ここからは、歯と口腔の健康づくりの取り組みについてご報告いたします。歯科衛生士の春山です。よろしくお願ひします。

こちらは全世代を通した歯科の取り組みになります。歯と口の健康は、食事や会話を楽しむことや生活習慣病予防等全身の健康と大きく関わります。本市では平成24年に「八千代市市民の歯と口腔の健康づくり推進条例」を制定し、生涯にわたる歯や口腔の健康づく

りに取り組んでおり、令和4年度には市民の健康寿命の延伸を目指して条例を改正したところです。条例では、健康まちづくりプランを歯科の計画を兼ねたものに位置づけております。令和4年度はまだ第2次健康まちづくりプランの期間にあたりますので、第2次健康まちづくりプランに基づいて、以下の3つの取り組みを進めております。

1つ目は、歯と口腔の健康づくりに関する普及啓発です。各種歯科健診で歯に関する知識の普及啓発を行うことに加えて、各種講座でも年代に応じて歯科保健情報をお伝えしております。令和4年度は条例の改正内容をお知らせするというのもあって、広報「やちよ」で特集頁を組み、妊娠してから100歳になるまでのライフステージに応じた歯と口の健康づくりのポイントをお伝えいたしました。また、感染症の影響で中止が続いていた歯科医師の先生による歯科講演会も令和4年度は開催がかないまして、むし歯や歯周病予防の知識の普及を行うことができました。

2つ目の取り組みは定期的な予防管理の推進です。こちらは各種の歯科健診を実施しまして、かかりつけの歯科医を持つことができるよう支援しております。

3つ目の取り組みは、関係機関との連携・協力体制づくりです。「八千代市歯と口腔の健康づくり推進会議」を令和4年度はオンラインと対面のハイブリッドで開催いたしました。条例の改正を踏まえまして、今回前半でお話ししました第3次健康まちづくりプランの歯科分野の案をこちらの会で作成いたしました。改正後の条例に盛り込んだ新たなキーワードとなります健康寿命の延伸やオーラルフレイル対策、スポーツの際のけが防止を目的とするマウスガード等について、先生方にご意見をいただきながら取り組み内容を確認したところです。

マウスガードはご覧になったことがない方も多いかと思います。コンタクトスポーツという接触を伴う競技にはマウスガードを使うようになってはいるのですが、コンタクトしない、ぶつかり合ったりしないスポーツであっても、野球のボールが飛んできて歯にあたって歯が折れてしまったり、抜けてしまったといった事故が多々ありますので、スポーツのときにはけがを防止したり、あとはパフォーマンスをよくするというのでできる限りマウスガードの使用をお勧めしております。マウスガードは歯医者さんで作ることができますので、こちらも皆さんにもっとわかりやすくお伝えできる工夫をしていきたいと考えております。

人生100年時代を元気に過ごしていただけるようにということで、令和5年度以降第3次プランにより新たな取り組みを進めていきたいと考えております。以上です。

(福田会長)

ありがとうございます。ただいまの説明に対してご意見・ご質問はありますでしょうか。

(小川委員)

薬剤師会の小川です。よろしく申し上げます。すごくいろいろな取り組みをされていて興味深く伺わせていただきました。前の年と比べて未実施等が少し減ってきている印象は受けましたが、すこやか親子世代のところだけ未実施がまだ残っているのがちょっと気になりました。

また、性についての講演会は、恐らく毎年やっていただいていると思いますが、評価項目のところ、資料2計画書の118頁を見ていただければわかりやすいと思いますが、性について知っている中学生の割合が7.4%しかないという現状があるので、この部分はほかの取り組みも少し力を入れたほうがいいのではないかと思います。おそらく講演会自体は保護者等を対象にされていると思うのですが、このアンケートはおそらく中学生を対象としているので、実際に本人たちに向けて何かやるべきなのではないかと感じました。そういったところで何かあれば教えていただければと思います。

(福田会長)

では、事務局から何か。

(事務局：湯浅)

ご意見ありがとうございます。母子保健課の湯浅と申します。思春期保健ネットワーク会議の件についてご報告させていただければと思います。今年度は3年ぶりにシンポジウムを開催することができまして、会自体の取り組みやこういうことを伝えている先生方がいらっしゃるのだということをもまず周知したいというところで、今回シンポジウムを開催しました。講師の先生のご都合で日曜日午後の開催だったので、やはり保護者の方が出てくるのはちょっと難しい時間帯ではあったかなと思いますので、改善するところではあると考えています。会の感想の中でも、「小中学生の子どもたちやその保護者の方々に向けて直接伝える機会があるといいよね」というご意見も多くいただきました。実際に参加していただいた方は、それぞれお子さんの学校のPTAに声を掛けてくださったりというところで、少しずつ広まってきてはいるところなのかなというところなんです。私たちもお子様や保護者の方に直接伝える場所をこれからどういうかたちでつくっていくのか、シンポジウムというかたちではなくて、また違う仕組みづくりを次の課題として、会議の中でも委員の先生方とご相談をさせていただきながら、何とか構築できるといいなと考えているところです。ありがとうございました。

(小川委員)

ありがとうございます。たぶん、やられていく流れの中に、実際、学校との連携みたいなところがキーになってくるのだろうと思っています。そのときに活用しやすいものとして学校医とか、私たち学校薬剤師でも構いませんし、歯科の先生方もいらっしゃると思うので、保健に携わるような職種からの講演のようなものを作ってと言われれば、恐らく動くと思うので、ぜひ使っていただければ、やりやすいのではないかと思います。

(事務局：湯浅)

ご意見ありがとうございました。ご意見をいただいたということをも思春期保健ネットワーク会議の委員の先生方にもぜひお伝えさせていただきまして、これからの活動の中にぜひお願いできればと思います。ありがとうございました。

(福田会長)

ほかにご意見・ご質問はありますでしょうか。小林さん、お願いします。

(小林委員)

小林と申します。今回ここに来るにあたりまして送っていただいたプランを読ませていただいて、大変ご苦労様でしたと申し上げたいと思います。今お聞きしましたら、具体的に推進していただけるということで大変結構だと思います。今後のフォローに関して1点だけ質問というかお願いをしておきたいと思います。

実は、このプランを読ませていただいて、1頁に国の「健康寿命延伸プラン」に沿ってやりますという趣旨のことが書いてありましたので、国のプランを読んでみました。そうすると、国の「健康寿命延伸プラン」には介護予防、フレイル対策、認知症予防、この3分野を中心に取り組んでいくと書いてあることに気づきました。今回このプランの中に、高齢者の要介護認定者で認知症が最も多いと書いていただいています。健康診断というか認知症の検査についてあまり触れられていないのではないかと思います。今後のこのプランのフォローとして、認知症対策についての健診を組織的に体系的に検討していくことが、検討テーマになり得るのかどうか。そういう可能性があるかどうかについて、聞かせていただければありがたいと思います。

(福田会長)

ありがとうございます。これは私からの質問ですが、私も認知症は社会全体の問題として認識していますが、今のご質問はこのプランの中にそれをもっと盛り込めるかどうかというご質問ですか。

(小林委員)

いえ、このプランは大変素晴らしいプランになっていると思いますので、このプランの修正といった趣旨ではなくて、今後計画を進めていくにあたって、認知症対策についてもテーマとして今後検討していく必要があるのではないかなど。

(福田会長)

ご意見ということでよろしいですか。

(小林委員)

ええ、意見です。ひとつお願いをしたいと思います。

(福田会長)

ありがとうございます。今のご意見に対して何かございますか。お願いします。

(事務局：馬場)

健康まちづくりプランは、国の「健康日本21」とか「健康ちば21」に基づく市町村計画ということでやっておりますが、認知症施策は長寿支援課が所管しております、介護保険

事業計画の中で掲げていくというかたちです。ただ、こちらは関係ないよということではなく、実はそちらの計画は、今年市民の意識調査を終えて来年度介護保険の新しい計画をつくるのですが、そちら計画はうちの課も事務局になっております。介護予防の中に認知症予防も入っているのですが、そちらの計画と連動して健康まちづくりプランの取り組みが書かれる部分もありますので、そういったご意見で、特に認知症施策に入れてほしいということがありましたら、伝えていくこともできますので、ご意見等いただければそちらの担当に伝えて、何らかの取り組みを進めていきたいと思っております。

(小林委員)

ありがとうございます。実は、最近身のまわりに認知症問題の話が結構入り込んでくるものですから、私は体系的に認知症政策を知っているかということ、車の免許を書き換えるときに必ず認知症検査をされることを把握しているぐらいですが、そういったものを何か体系的にやっていく必要が出てくるのではないかという感じで申し上げました。今の方向でよろしくをお願いします。

(福田会長)

ありがとうございます。ほかにご意見・ご質問はございますでしょうか。

(細谷副会長)

細谷です。先ほどは自己紹介が漏れまして申し訳ございません。ご説明していただいたのかもしれないのですが、はつらつ成年世代の取り組みにつきまして、やちよ健康情報メールの配信のところで、働きざかり世代の方に重要な情報だと思うのですが、市民の中でこのメールを登録している方の割合といいますか、もしわかればどれぐらいの方に配信できているのか教えていただければと思ってお質問させていただきました。

(福田会長)

事務局からお願いします。

(事務局：大澤)

確認をしまして後ほどお答えしたいと思います。3, 40代の女性が多かったように記憶していますが、確実なものを今確認してまいりますので、少しお待ちください。

(福田会長)

では、今の質問はちょっと置いておいて、ほかになんかご意見・ご質問がある方はいらっしゃいますか。よろしいでしょうか。

《質問なし》

では、続きまして、2報告(2)いのち支えるまちづくりプランにおける実績報告①進捗状況調査結果について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局：馬場)

健康づくり課の馬場と申します。①進捗状況調査結果と②令和4年度活動報告併せてご説明します。

資料7の1頁目からお話いたします。まず、いのち支えるまちづくりプランの進捗状況調査の目的は、健康まちづくりプランと同様に現行のいのち支えるまちづくりプランの進捗状況を確認して次期プランに生かすということになります。

調査対象は庁内8部署、外部機関1カ所(社会福祉協議会)になります。

調査内容は令和3年度実績及び令和4年度の予定とし、令和4年5月16日から6月6日までの期間に実施しております。

続いて、本日お配りした裏面にあたる資料、2頁目の調査結果についてお伝えいたします。調査対象事業は28事業でしたが、コロナ禍でも自殺対策の重要性を各部署が認識していたと思われるので、ほぼ全てにあたる27事業が実施されておりました。実施していなかった1事業はこころの健康づくりの講座になりますが、これは新型コロナウイルス感染症の影響下で、依頼講座の開催がなかったためです。一部当初に計画していたとおりに進んでいなかった事業もありましたが、実施時期をずらしたり代替手段を活用して周知する等、各部署で工夫しながらなるべく効果があがるよう取り組みを進めていたと伺っております。

続きまして、令和4年度の主な活動についてご報告いたします。資料8をご覧くださいければと思います。

まず1点目、市ホームページ、情報メール、リーフレットなどを活用した情報発信は、県や国のSNS相談等、新たに開設される相談窓口や取り組みがあれば、随時ホームページ等を直しまして市民に速やかに周知をすることを心掛けております。また、資料にあります悩んだときの相談窓口リーフレットは、各種相談窓口での配布のほか、地域の身近な相談役である民生委員・児童委員、社会福祉協議会・支会の福祉委員の方々のほか健康講座参加者などへも配布しております。

2つ目のゲートキーパー養成講座ですが、新型コロナウイルス感染症の影響下で、対面での講座の縮小や人数制限を余儀なくされていたことから、より多くの方に周知するための初めての取り組みとして、オンラインを活用して講座を開催いたしました。まず、11月と2月に社会福祉協議会の登録ボランティア等支援者を対象とした講座を開催し、最初に7名、次に10名の申し込みがありました。ちなみに、修了者数に記載がないものは、実際に動画を視聴し、アンケートを返していただいて初めて参加というかたちになるので、まだ人数が確定しておらず記載していません。令和5年度は、多くの市民に興味を持っていただけるよう周知方法を工夫したり、対面での講座も検討したいと考えております。

一方、市職員向け講座はオンラインで視聴する方法と、動画を視聴する上映会の開催の2つの方法から選択できるかたちとしました。申込者が120名、現在の市役所のゲートキーパー養成講座の未受講者1,250名の内、約1割の方の参加申し込みがありました。令和5年度以降は、職員課で企画している3年目の職員を対象とした研修と連携するなど、次期プランの期間中、評価時期である令和9年度までの5年間に、市職員のゲートキーパー受講者が少なくとも3割を超えることを目指し、引き続き各部署に働きかけていきたいと考えております。

最後に、自殺予防講演会のオンライン開催ですが、皆様に今日お配りした黄色いチラシをご覧ください。健康情報メールでも本日配信しておりますが、本日3月1日から31日までの1か月間が自殺対策強化月間となっております。令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響下で、市民向けのこころの健康づくりの講演会が企画できなかったため、その代替を兼ねまして、ゲートキーパー入門編の動画を作成し、3月の自殺対策強化月間に合せて、ホームページ上で動画配信して広く市民の方に周知することといたしました。全部ご覧いただくと1時間と、多少長いのですが、20分ごとに3分割してありますので、分けて視聴することも可能です。本日皆様にお配りしたチラシを、事前に民生委員・児童委員の理事会や社会福祉協議会・支会の連絡協議会、健康づくりの講座や、地域包括支援センターの管理者会議などでも配布し、周知させていただいております。皆様にも、お時間のあるときにぜひご覧いただき、またお知り合いの方にもご紹介いただければ幸いです。令和4年度の主な取り組みにつきましては、以上となります。ありがとうございました。

(福田会長)

ありがとうございました。ただいまの説明に対してご質問はありますでしょうか。

(斎藤委員)

千葉いのちの電話斎藤と申します。意見ですので聞いていただければと思いますが、毎回私は申し上げているのですが、ゲートキーパーの養成が自殺予防に一番手っ取り早い、皆様のできる事かなと思っておりますので、令和4年度の活動、それからプランのほうにも100頁にしっかり書いていますので、ぜひお願いしたいと思います。ただ、目標として頻度は入れないということですが、なるべく多くの回数、多くの市民の方に、ゲートキーパーとは何なのか、どういうことをするのか、それがどういう効果があるのかぐらいは知っていただきたいと思っています。

私たちは自死遺族の方々の支援もしているのですが、やはり皆さん最初におっしゃるのが、なんで気づいてあげられなかったのかと。皆さんずっと思われておりますので、気づくのは本当に大事だなと思っております。そこをよろしく願いいたします。

(福田会長)

ありがとうございました。ほかにご質問等ある方はいらっしゃいますでしょうか。

《質問なし》

(事務局：西川)

先ほどご質問いただいた健康情報メールに関して人数をお伝えさせていただきます。

(事務局：大澤)

すみません、世代のは今は統計を取っていないということで、人数だけになってしまいますが、1月末現在登録者数が10,245人になります。八千代市民は20万人いますので、そのうちの1万人が登録しております。以上です。

(福田会長)

ありがとうございます。それでは、すべての議題が終了いたしましたので、最後に事務局より事務連絡をお願いいたします。

(事務局：佐藤)

本日も協議いただきました八千代市第3次健康まちづくりプラン及び第2次のち支えるまちづくりプランは、令和5年3月末の策定に向けて手続きを進めてまいります。計画書本体が完成いたしましたら、委員の皆様へも配布させていただきます。なお、計画書は4月以降市ホームページのほか図書館等の公共施設においても閲覧可能となる予定です。

また、本推進・評価委員会の委員の皆様は、令和5年6月14日までとなります。本日の委員会が委嘱期間最後の委員会となります。本当にありがとうございました。

第3次健康まちづくりプランの推進・評価については、前回会議でも提示をさせていただいたとおり、健康まちづくりプラン推進・評価委員会にてご協議いただく予定です。今まで1つの部会は8名、全部で3部会構成でした。次期計画は世代別から分野別に変更したことに伴い、部会は2部会へと変更することを踏まえ、新しい委員の構成や人数については現在検討をしている段階です。次期推進・評価委員会の委員については、新委員の任期となる令和5年6月15日より前に改めて各団体へご依頼のお声掛けをさせていただきますことをご了承ください。

また、第2次のち支えるまちづくりプランについては、新たに「仮称 八千代市自殺対策連絡協議会」を設置し、推進予定です。こちらの構成委員についても現在調整しておりますことをご了承ください。

最後になりますが、委員の皆様におかれましては、両計画の推進・評価及び次期計画の策定にあたり、たくさんの貴重なご意見をいただきましたことに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

(福田会長)

それでは、これをもちまして、令和4年度第3回八千代市健康まちづくりプラン推進・評価委員会を終了いたします。皆さん長時間にわたりお疲れ様でした。